

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

いわき市長 内田 広之

市町村名 (市町村コード)	いわき市 (204)	
地域名 (地域内農業集落名)	北神谷・水品地区 (北神谷 水品)	
協議の結果を取りまとめた年月日	令和 6 年 1 月 21 日 (第 1 回)	

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

・高齢化の進行に不安を感じている。
 ・ほ場の区画は旧耕地整理で整備された10a区画となっており、機械化による作業効率が上がらない。
 ・農道が狭く、大型機械の通行に困難をきたしている。用水路も未整備の箇所が多く、効率的な水利用がなされていない。用水については北神谷地区の一部と水品地区が、ため池を利用しており水利用に苦勞している。

(2) 地域における農業の将来の在り方

・水稻をメインに作付しており、基盤整備事業を実施するにあたって、梨・イチジク・ねぎ・サツマイモを検討中。
 ・農地については、認定農業者へ集積すると共に、入作者を募る。来年9月に就農予定の人物がいるため、再来年くらいに法人化を検討している。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	70.7 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	70.0 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	— ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とし、その区域と住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
・地区では小規模で自作している地権者の高齢化や後継者問題が顕著な為、農地中間管理事業を活用して担い手への農地集積・集約を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方針
・担い手と地権者のマッチングや今後、地区で集積・集約化を進めるためにも農地中間管理機構を有効的に活用していく。
(3)基盤整備事業への取組方針
・将来的に基盤整備事業の実施を目指すため、定期的に説明会等を実施することで地権者の合意を図り、農地中間管理機構を通じた担い手への集積を行って、基盤整備事業に取り組む。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
・地区で実施したアンケートにおいて、高齢化を心配する声が多くあったため、入作を含め、地区内外で新たな担い手を確保する。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
・農協が実施しているヘリ防除の導入を検討している。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

- ①地域による鳥獣被害対策として電気柵を導入し、ワイヤーメッシュや捕獲用の罠を設置している。
 ⑦年に2回の草刈、泥上げを実施し、農道の砂利引きを実施している。